



デマンドバス（中頓別浜頓別線）
浜頓別高校スクールバス（一般混乗）

路線バスのデマンドバス転換から1年 利用実績から中頓別町の交通体系を考える

平成元年、中頓別町を走るJR天北線が廃止され、現在の路線バス天北宗谷岬線に転換しました。この間、人口減少と自家用車の普及に伴う赤字補填が拡大したことから、令和5年9月末をもって浜頓別町から音威子府村の路線を廃止し、翌10月から同区間を運行する予約型のデマンドバスに転換しました。

令和5年10月の本格運行開始から1年が経過し、この間の公共交通を取り巻く状況の変化やデマンドバスの利用状況などを踏まえ、今後の中頓別町の公共交通を考えます。

路線バスからデマンドへ

以前の天北宗谷岬線は、音威子府駅で特急列車へ接続する便、中頓別ターミナルから浜頓別高校への通学便を基本として運行しておりました。路線バスからの転換にあたり、2つの用途に合わせて既存の路線を踏襲しつつ、目的別にデマンドバスと浜高スクールバスを分け、空車運行の削減のため予約制として運行を開始しました。

デマンド転換による変更点

デマンド転換による運行便数の変化を図表1に整理します。

デマンドバスについては、JRの特急、都市間バスへの接続のため、上り1便、下り3便を運行し、浜高スクールバスは登校便として下り1便、下校便として上り2便を運行しております。特に浜高ス

クールバスに関しては、高校の授業等に合わせて運行することで通学生の利便性を高めております。

スクールバスの運行予定については、ホームページへ掲載するとともに毎月チラシを全戸配布しており、通学生は予約不要で乗車できます。通学生以外の方は一般混乗として、事前予約により乗車することができません。

都市間バスの変化

デマンドバスに転換して以降、宗谷バス株式会社が運行する都市間バスに関しても、運賃増額、えさし号旭川便の減便、えさし号旭川便および天北号の旭川出発時刻の繰り上げが行われております。

図表1 路線バスからの運行便数の変化

旧天北宗谷岬線					デマンドバス			スクールバス		
接続	特	特/都			特	(都)	特/都	授業等にに合わせて運行		
下り	音威子府		11:20		11:00	14:40	16:10			
	中頓別	7:50	12:23		11:55	15:15	17:05	---	---	---
	浜頓別	8:18	12:49		12:21	15:41	17:31	---	---	---
上り	浜頓別	8:14	12:54	16:13	13:25			---	---	---
	中頓別	8:39	13:30	16:38	13:51			---	---	---
	音威子府	9:37	14:25		14:46					
接続	特				特					

※ 特：JR 特急、都：都市間バス、網掛け部分：浜高登下校便
※ 登校便の復路、下校便の往路を含め、往復で一般混乗可能
※ デマンドバス 14:40 発に関して、えさし号の休止に伴い接続便は無し

運送業界を取り巻く環境

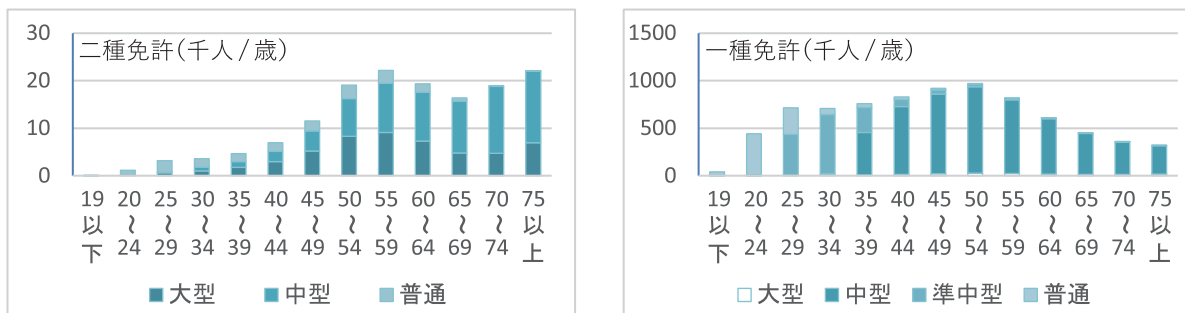
都市間バスの路線の減便や運賃改定の理由としては、燃料代の高騰といった理由のほか、全国的な人手不足による影響が挙げられております。

図表2から、全国の一乗免許の保有数を見ると、免許区分新設の影響を加味しても、若年層の中型以上の保有数が減少傾向にあります。また、二乗免許の保有数を見ても、年齢が低いほど保有数が低く、今後もドライバーの減少と高齢化が続くことが見込まれます。

また、北海道における自動車運転手の有効求人倍率のデータによると、直近の令和6年8月の倍率では2・26（参考…北海道労働局ホームページ）であり、近年では2・00前後を推移していることから、人材不足により有効求人倍率が高止まりしていることがわかります。

こういった背景から、都市間バスだけではなく、地域における公共交通の維持、そのためのドライバー確保については、今後も厳しい状況が続くと考えられます。

図表2 令和5年警視庁統計 年齢別 運転免許の種別保有数

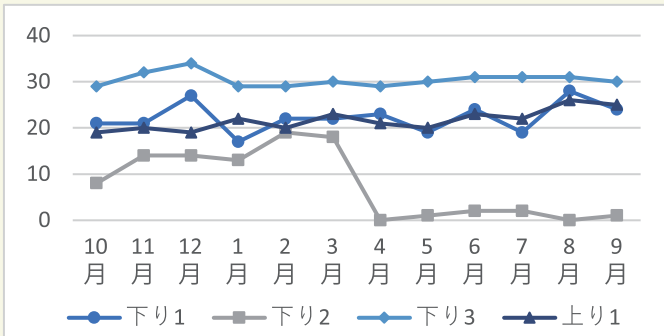


※ 1人で2種類以上の運転免許を持っている者については、上位の種類に計上

※ 平成19年以前の普通免許は中型免許（8t限定）、平成29年以前の普通免許は準中型免許（5t限定）に分類

図表3 デマンドバス運行実績

便ごとの運行回数（回）



便ごとの乗車回数（人）

		下り1便 音威子府 11:00発	下り2便 音威子府 14:20発	下り3便 音威子府 16:10発	上り1便 浜頓別 13:25発	計
R5	10月	44	12	117	46	219
	11月	48	25	110	43	226
	12月	55	31	145	42	273
R6	1月	32	21	86	41	180
	2月	45	36	128	42	251
	3月	37	30	99	44	210
	4月	41	0	114	35	190
	5月	34	1	118	42	195
	6月	45	2	123	42	212
	7月	40	2	110	36	188
	8月	66	0	129	61	256
	9月	54	1	138	62	255
	計	541	161	1,417	536	2,655

デマンドバスの利用状況

令和5年10月から令和6年9月までのデマンドバスの運行実績を図表3に示します。

便ごとの運行回数を見ると、下り3便の利用が多く、4月以降の下り2便が減少していることがわかります。下り3便については、札幌方面からの特急列車、都市間バス、名寄方面からの普通列車に接続していることから運行頻度が多く、下り2便に関しては、えさ

し号旭川便の減便により予約数が減少したと考えられます。

便ごとの乗車人数に関しても、運行回数と比例しており、利用の延べ人数としては1年間で約2千6百人となりました。令和5年5月に策定した中頓別町・浜頓別町地域公共交通計画では、過去の乗降調査の拡大推計から年間1千4百人を目値として設定していたことから、当初の想定よりも利用されている状況にあります。

転換による影響の比較

令和5年8月から実証実験を開始し、翌年3月までの8か月間の事業決算を図表4に示します。

デマンドバスにかかる支出と収入は、それぞれ浜頓別町と5割ずつ負担しており、浜高スクールバスに関しては中頓別町単独で運行しております。それぞれの決算額を12か月換算すると合計で約1千5百万円となり、これが転換後のおおよその負担額となります。

一方で、過去の路線バスの補助金は2千万円以上であり、前述の燃料高騰や人材不足といった影響を受けることで今後も負担が増えていたものと考えられます。

事業外での影響

デマンドバス転換により、ドライバーなど地域内の雇用が増えていくことに加え、町内の事業者から車両を購入し、整備を行い、給油していることによる経済的な効果もあるものと考えられます。

また、転換前までは、路線バスを利用する浜高通学生に対して定期券購入費用の5割を補助しており、年間2百万円ほどの支出がありました。転換後の浜高スクールバスについては無料で運行していることもあり、通学にかかる年間10万円ほどの本人負担がゼロ、町としても2百万円の補助経費が削減されています。

デマンドバス転換に伴う課題

デマンドバス転換以降、利用している方の一部から、予約制であることへの不満の声をいただいております。急な外出に利用する方や通勤などの定期的な利用が見込まれる方にとっては、路線バスに比べて不便な状況にあります。

予約制のジレンマ

デマンドバスへの転換は、空車運行削減のため予約制としておりました。運行開始以降、乗車人数にばらつきがあり、10人乗り車両では乗り切れないことがありました。事前予約により人数を把握することで、29人乗り車両での運行、別便での送迎といった柔軟な対応が可能となります。

予約の有無に関わらず全便運行することと想定した場合、結果的に乗車が0～1人の場合でも29人乗りの車両で運行する必要があると見込まれます。29人乗り車両の運転には中型免許以上が必要であり、中型免許以上の取得者の減少、高齢化が見込まれていることから、365日運行する便に対して、中

型免許を持つドライバーを確保し続けることに懸念があります。

不便さの軽減に向けて

デマンドバスを予約するためには、前日の17時までに電話する必要がある、電話の受付時間も限られております。この予約タイミングの不便さを解消するため7月からオンライン予約システムを導入しました。

乗車日の前日17時より前であれば、インターネットから24時間予約が可能となり、スマホやパソコンから複数の予約を管理することができます。導入以降オンラインの予約が増え、8月～9月の乗車数に対して、約46%がオンライン経由の予約となっております。

今後もデマンドバスの不便さを軽減するため、より柔軟な運行体制の検討など様々な可能性を模索していきます。ただ、公共交通の条件不利地域であることによる不便さを完全に解消することは難しく、利便性と経済性のバランスを勘案しながら、より良い運行形態を目指します。

図表4 令和5年度事業決算額

R5.8～R6.3の8か月間	千円
デマンドバス（1町あたり）	3,119
浜校スクールバス	6,697
8か月運行合計	9,816
↓	
12か月運行換算	14,724



図表 5 公共交通の運行路線

	猿払	浜頓別	中頓別	小頓別	音威子府	名寄	旭川	札幌
路線バス 天北宗谷岬線	●	●						
予約 デマンドバス		●	●	●	●			
予約 浜高スクールバス（一般混乗）		●	●					
予約 都市間バス 天北号（鬼志別－旭川）	●	●	●	●	●	●	●	
JR 普通・特急					●	●	●	●
		浜頓別	枝幸					
路線バス 浜頓別線		●	●					
予約 都市間バス えさし号（枝幸－旭川）			●	●	●	●	●	
予約 都市間バス えさし号（枝幸－札幌）			●	●	●			●

公共交通体系を考える

中頓別町における公共交通の運行路線を図表5に整理します。図中の路線のほか、中頓別ハイヤー、介護福祉タクシーどんぐり、なかとんべつライドシェアといった交通手段があり、主な生活圏への移動としては一定の選択肢を確保していると考えます。

一方で、前述の課題としても挙げられていた予約制である不便さなどのほか、免許を持たない子ども、バスのステップに乗ることができない高齢者など、既存の公共交通から零れ落ちているニーズがあると考えられます。

今後の方向性

デマンドバスや都市間バスを幹線とし、複数の交通手段を組み合わせることで、少しでも多くの方が利用しやすい公共交通体系を目指し、運用の中で解消できることは都度改善を図ります。

経年のデータを比較できるように今後もデマンドバスの運行を継続し、将来の公共交通の確保に向けて検討を進めます。

デマンドバス

予約専用 TEL (9:00-17:00)

0120-050-204

運行情報の確認、
当日の予約キャンセルなど

緊急連絡先：01634-6-2800

※緊急連絡先からの予約はできません

デマンドバス（中頓別浜頓別線）発着時刻の目安

下り	1 便	2 便	3 便
音威子府	11:00	14:20	16:10
中頓別	11:55	15:15	17:05
浜頓別	12:21	15:41	17:31

上り	1 便
浜頓別	13:25
中頓別	13:51
音威子府	14:46

詳細はこちらから



オンライン予約システム LoCoBuS（ロコバス）



<https://app.locobus.net/town.nakatombetsu.hokkaido/>

- ・浜高スクールバス（一般混乗）の予約も可能です
- ・スマホやタブレット、パソコンからでも利用できます
- ・初めて利用する際には新規利用者登録が必要です

中頓別町ホームページ
デマンドバス・
浜高スクールバス
<https://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp/bunya/50874/>